

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



2011/08/31

が失われてからすでに半世紀近く経過した。しかし、私の記憶のなかでは、それはいまだに生き続けている。

平成二十三年八月
 三ノ百(水)
 参加者二百名
 小学生対象
 楽しい時代の遊びを
 遊ばし

次世代を担う子供達の
 おかし遊びの
 伝承。



2011/08/31

昭和生まれの私が小さい時分には子供はみんな屋外で遊んでいた。母親は子供が家の中に閉じこもってばかりいたり、家事の邪魔だつたりすると、ちまこ表で遊んできなさい、と言って子供を追い立てたものだ。そう言われると子供はすぐさま表へ飛び出していった。表では子供たちが群れをなして遊んでいる。メヌヒ、王、竹馬、竹トンぼ、水まげ、隠れん坊、風揚げ、子供仲間と原っぱでこんな遊びに熱中することもあれば、独りで家の前の空き地にしゃがみこんだり、野原で草や虫を相手にしたりして遊んだ。今はこのまもなくおかし遊びがほとんどなく、DSやパソコン遊びで室内だけで子供が活発なのはNO



2011/08/31

竹トボ
 子供たちはみんな表で遊んでいた。
 水まげ
 竹馬カマ競争
 竹馬イレー



2011/08/31



2011/08/31



2011/08/31